

企業動向調査の概要

調査時点：令和8年7月（毎年1月、4月、7月、10月を調査期として実施）

調査対象：市内企業 100社 【製造業54、建設業15、運輸業6、卸・小売業12、サービス業13】

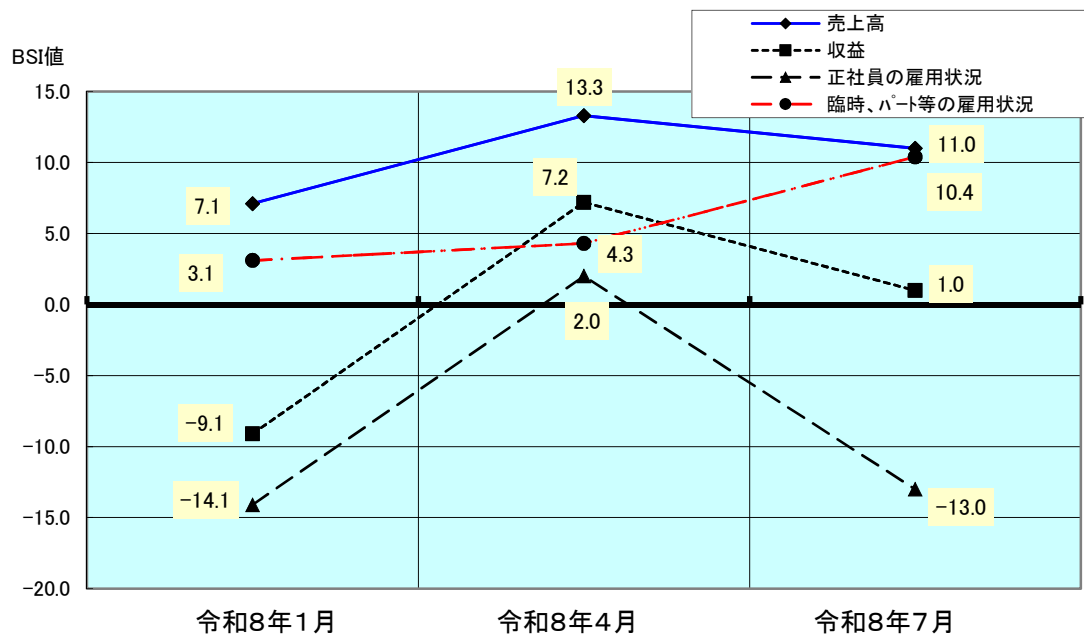
回答企業：100社 【製造業54、建設業15、運輸業6、卸・小売業12、サービス業13】

- 回答は、前年同期比での景況感(増加、不変、減少)による。
- 《BSI 値》は、「増加」と回答した企業の割合から、「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値である。

◆動向調査の結果

【全体】

- ☞「売上高」：2.3ポイント下降し、11.0ポイントになった。
- ☞「収益」：6.2ポイント下降し、1.0ポイントになった。
- ☞「正社員の雇用状況」：15.0ポイント下降し、△13.0ポイントになった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：6.1ポイント上昇し、10.4ポイントになった。

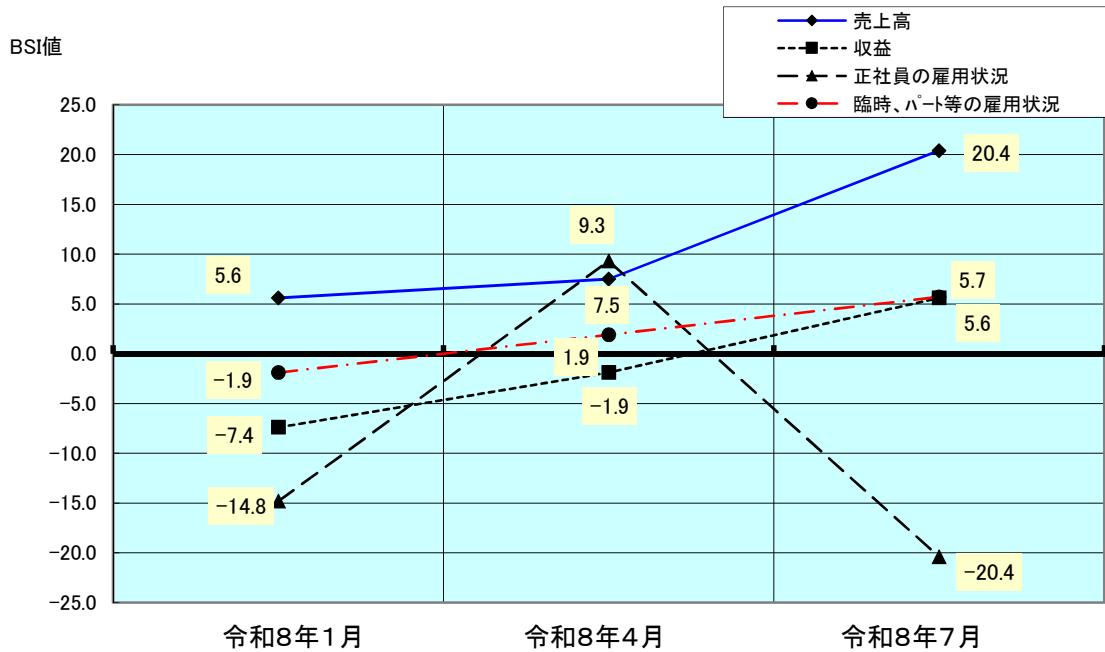


《全体の概況》

- ・「売上高」は、BSI 値が、製造業、サービス業でプラス、卸・小売業で±0、建設業、運輸業でマイナスになり、全体ではプラスであった。
- ・「収益」は、BSI 値が、製造業、サービス業でプラス、卸・小売業で±0、建設業、運輸業でマイナスになり、全体ではプラスであった。
- ・「正社員の雇用状況」は、BSI 値が、建設業でプラス、製造業、運輸業、卸・小売業、サービス業でマイナスになり、全体ではマイナスであった。
- ・「臨時、パート等の雇用状況」は、BSI 値が、製造業、建設業、卸・小売業、サービス業でプラス、運輸業で±0 になり、全体ではプラスであった。

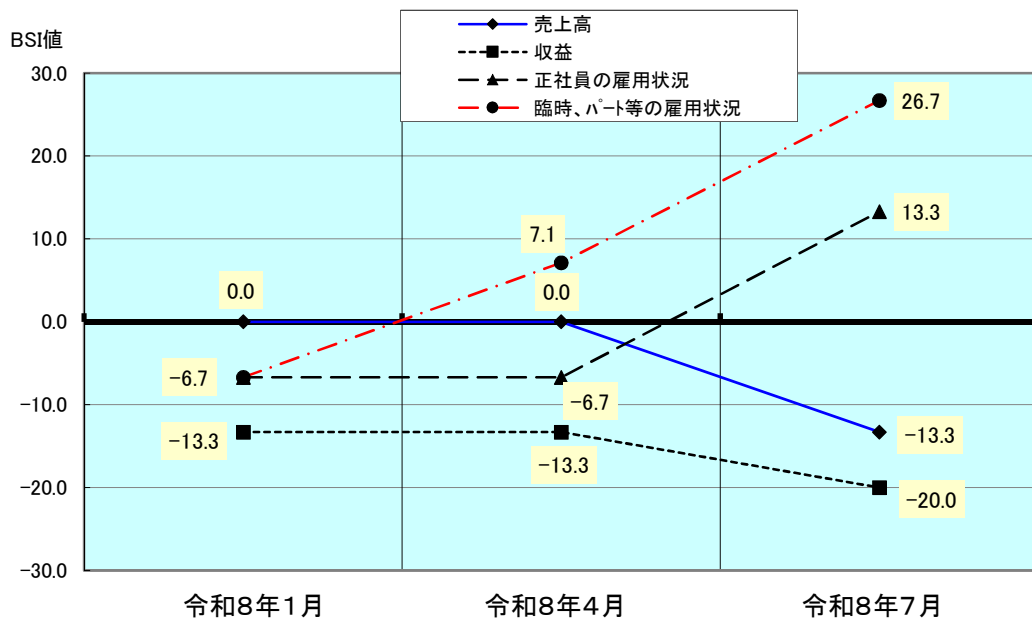
【製造業】

- ☞「売上高」：12.9ポイント上昇し、20.4ポイントになった。
- ☞「収益」：7.5ポイント上昇し、5.6ポイントになった。
- ☞「正社員の雇用状況」：29.7ポイント下降し、△20.4ポイントになった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：3.8ポイント上昇し、5.7ポイントになった。



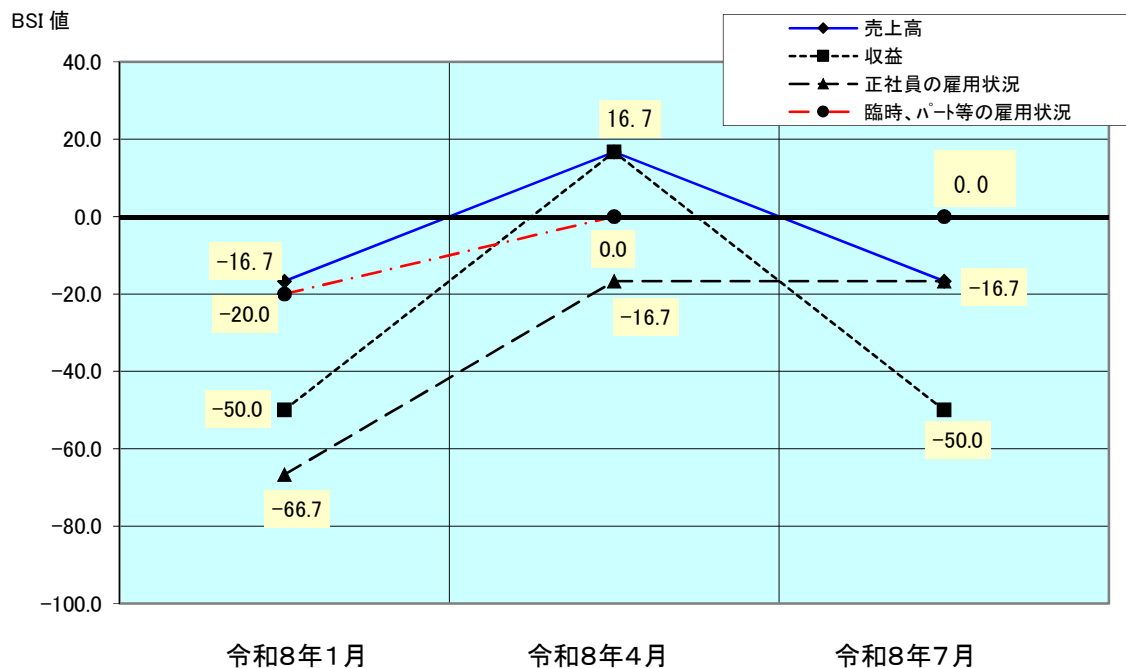
【建設業】

- ☞「売上高」：13.3ポイント下降し、△13.3ポイントであった。
- ☞「収益」：6.7ポイント下降して、△20.0ポイントになった。
- ☞「正社員の雇用状況」：20.0ポイント上昇し、13.3ポイントであった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：19.6ポイント上昇し、26.7ポイントであった。



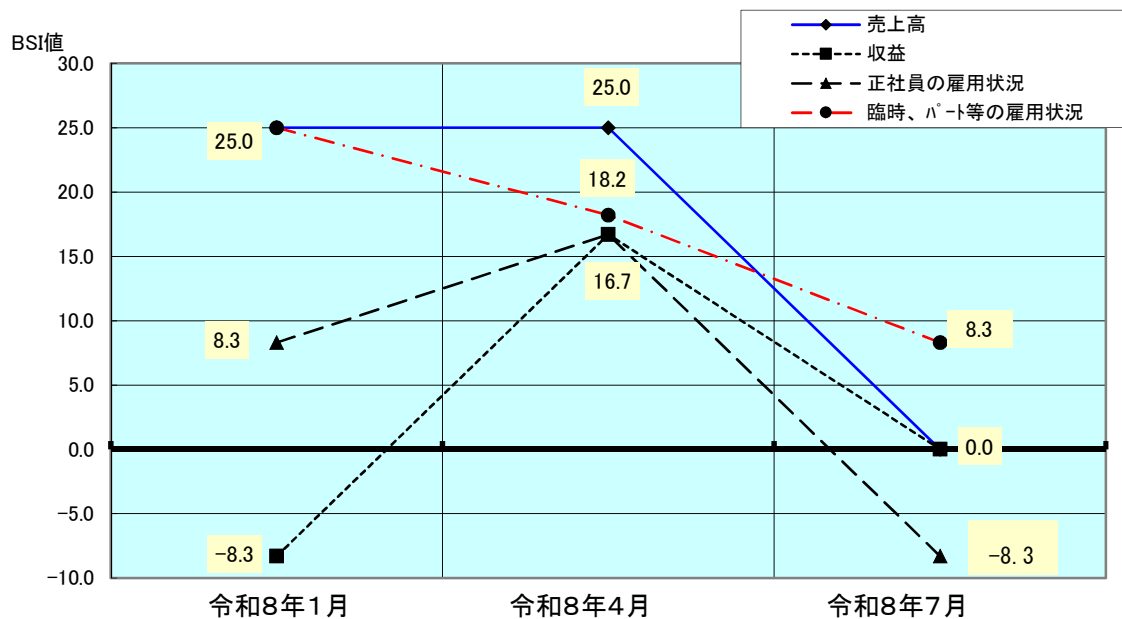
【運輸業】

- ☞「売上高」：33.4ポイント下降し、△16.7ポイントになった。
- ☞「収益」：66.7ポイント下降し、△50.0ポイントになった。
- ☞「正社員の雇用状況」：変わらず、△16.7ポイントであった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：変わらず、0.0ポイントであった。



【卸・小売業】

- ☞「売上高」：25.0ポイント下降し、0.0ポイントになった。
- ☞「収益」：16.7ポイント下降し、0.0ポイントになった。
- ☞「正社員の雇用状況」：25.0ポイント下降し、△8.3ポイントになった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：9.9ポイント下降し、8.3ポイントになった



【 サービス業 】

☞「売上高」：18.6ポイント下降し、23.1ポイントになった。

☞「収益」：27.5ポイント下降し、30.8ポイントになった。

☞「正社員の雇用状況」：9.6ポイント上昇し、△15.4ポイントであった。

☞「臨時、パート等の雇用状況」：18.2ポイント上昇し、18.2ポイントになった。

